

2019年春の「歓送迎会」 & 「花見」 動向を調査

**「歓送迎会」の参加回数、予算は共に増加予測
 想定支出金額は「花見」が2,452円/回（前年比-38円）
 「歓送迎会」が4,124円/回（前年比+90円）**

株式会社リクルートライフスタイル(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健)の外食市場に関する調査・研究機関「ホットペッパーグルメ外食総研」(<https://www.hotpepper.jp/ggs/>)は、2019年春の「歓送迎会」「花見」についてのカスタマーアンケートを実施し、その動向を発表いたします。

<要約>

POINT1

今春の「歓送迎会」への参加、「増えそう」な人が増加に転じる・・・P3-5

- 2019年春の「歓送迎会」への参加回数の見込みは、「昨年並み」という回答が前年より微減し、増加派（「昨年より大きく増えそう」＋「昨年よりやや増えそう」）が計9.8%（前年計9.3%）で微増した。
- 2019年春の「花見」への参加回数の見込みは、「昨年並み」という回答が過去7年で年々増加し、今年が過去最多（89.0%）となった。増加派（「昨年より大きく増えそう」＋「昨年よりやや増えそう」）が計8.6%（前年計9.0%）と6年連続して減少。
- 「歓送迎会」は、30～60代男性が同年代の女性より増加派が多い傾向にあるが、20代に限っては、増加派男性が18.2%に対して女性は18.7%と、女性が男性をやや上回った。

【参考】

2018年の参加率は「歓送迎会」が31.4%、「花見」が29.0%（3圏域計）。

POINT2

1回あたりの予算は「歓送迎会」で4,124円で過去最高額・・・P6-7

- 「歓送迎会」1人1回あたり想定予算は「3,000円～4,000円未満」（28.2%）が最も多く、続いて「5,000～6,000円未満」（27.9%）が多い。平均予算は4,124円（前年比+90円）で、過去最高額予想。
- 「花見」1人1回あたり想定予算は「2,000円未満」（30.4%）が最多。平均予算は2,452円（前年比-38円）と2年ぶりに減少。

POINT3

「歓送迎会」の相手は「会社・仕事関係」が2年連続増加の予想・・・P8-9

- 「歓送迎会」の相手は、「会社・仕事関係」の割合が36.5%と最多で、前年（36.3%）より0.2ポイント増加。2年連続しての増加。
- 「花見」の相手は、「家族・親族関係」と「友人・知人関係」がともに20.0%と最多だが、一方で、参加に消極的な人が増えている傾向。

【本件に関するお問い合わせ先】 株式会社リクルートライフスタイル ホットペッパーグルメ外食総研
<https://www.hotpepper.jp/ggs/> Eメール問い合わせ：hpg_gs@waku-2.com

調査概要と回答者プロフィール

- ◎調査名 外食市場調査(2019年1月度)
- ◎調査方法 インターネットによる調査
首都圏、関西圏、東海圏における、夕方以降の外食および中食のマーケット規模を把握することを目的に実施した調査(外食マーケット基礎調査)の中で、昨年の「歓送迎会」および「花見」についての実績や、今年の予測や意向等を聴取。
- ◎調査対象 首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県)、関西圏(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県)、東海圏(愛知県、岐阜県、三重県)に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)

■事前調査

- ①調査目的 本調査の協力者を募集するために実施
- ②調査時期 2018年12月20日(木)~2018年12月28日(金)
- ③調査対象 首都圏、関西圏、東海圏に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)
- ④調査内容 本調査への協力意向、普段の外食頻度、普段の中食頻度
- ⑤配信数 439,812 件
- ⑥回収数 34,699 件
- ⑦本調査対象者数 16,772 件

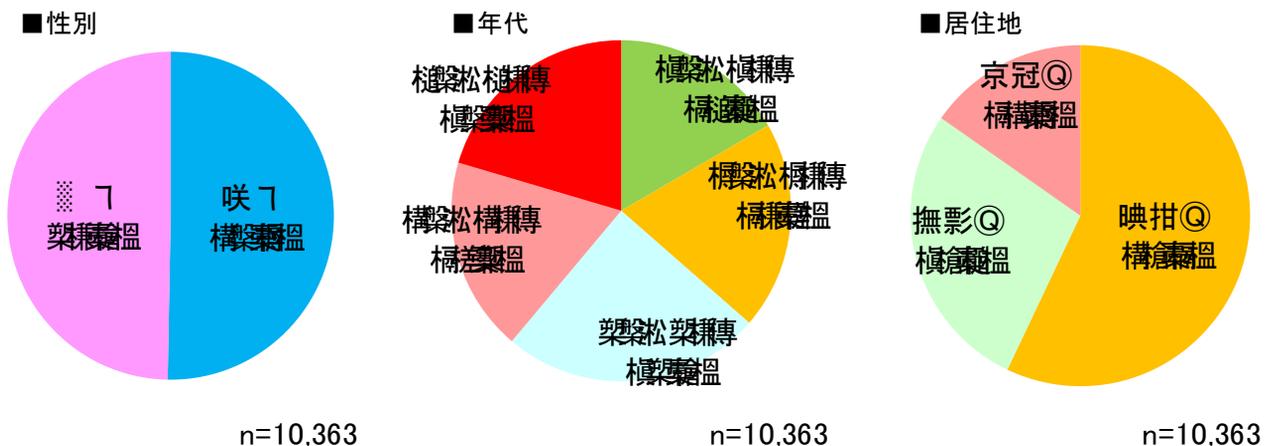
- ◆本調査対象者の割付について
- ・本調査では、回答者の偏りをできるだけなくすために、割付を行って回収した。
 - ・性年代別10区分×地域別25区分(首都圏地域13区分、関西圏地域8区分、東海圏地域4区分)=250セルについて、平成28年人口推計(総務省)に基づき割付を行った。
 - ・本調査の目標回収数は、首都圏4,000s、関西圏2,000s、東海圏2,000s、合計8,000sとした。

■本調査

- ①調査方法 事前調査で本調査への協力意向が得られたモニターの中から、脱落率を加味して設定した必要数をランダムに抽出し、本調査の案内メールを通知。
- ②調査期間 2019年2月1日(金)~2019年2月7日(木)
- ③配信数 13,171 件
- ④回収数 10,423 件 (回収率 79.1%)
- ⑤有効回答数 10,363 件 (首都圏 5,327 件、関西圏 2,725 件、東海圏 2,311 件)
- ※回収された票のうち、自由回答コメントから、趣旨に合わない判断された票を無効としたほか、事前調査時の普段の外食・中食頻度の回答と、本調査時の1カ月間の外食・中食回数が著しく乖離している場合、事前調査時の住所と、本調査時の住所が、圏域を越えて変わっている場合を無効とした。

- ◆集計方法について
- ・本調査結果は、平成28年人口推計(総務省)における割付(性年代別10区分×地域別25区分=250セル)別の構成比に合わせてサンプル数を補正したウェイトバック集計を行っている。
 - ・補正後のサンプル数は次の通り。
3圏域・計 10,363 件(首都圏: 5,915 件、関西圏: 2,863 件、東海圏: 1,585 件)

◆回答者プロフィール(ウェイトバック後)

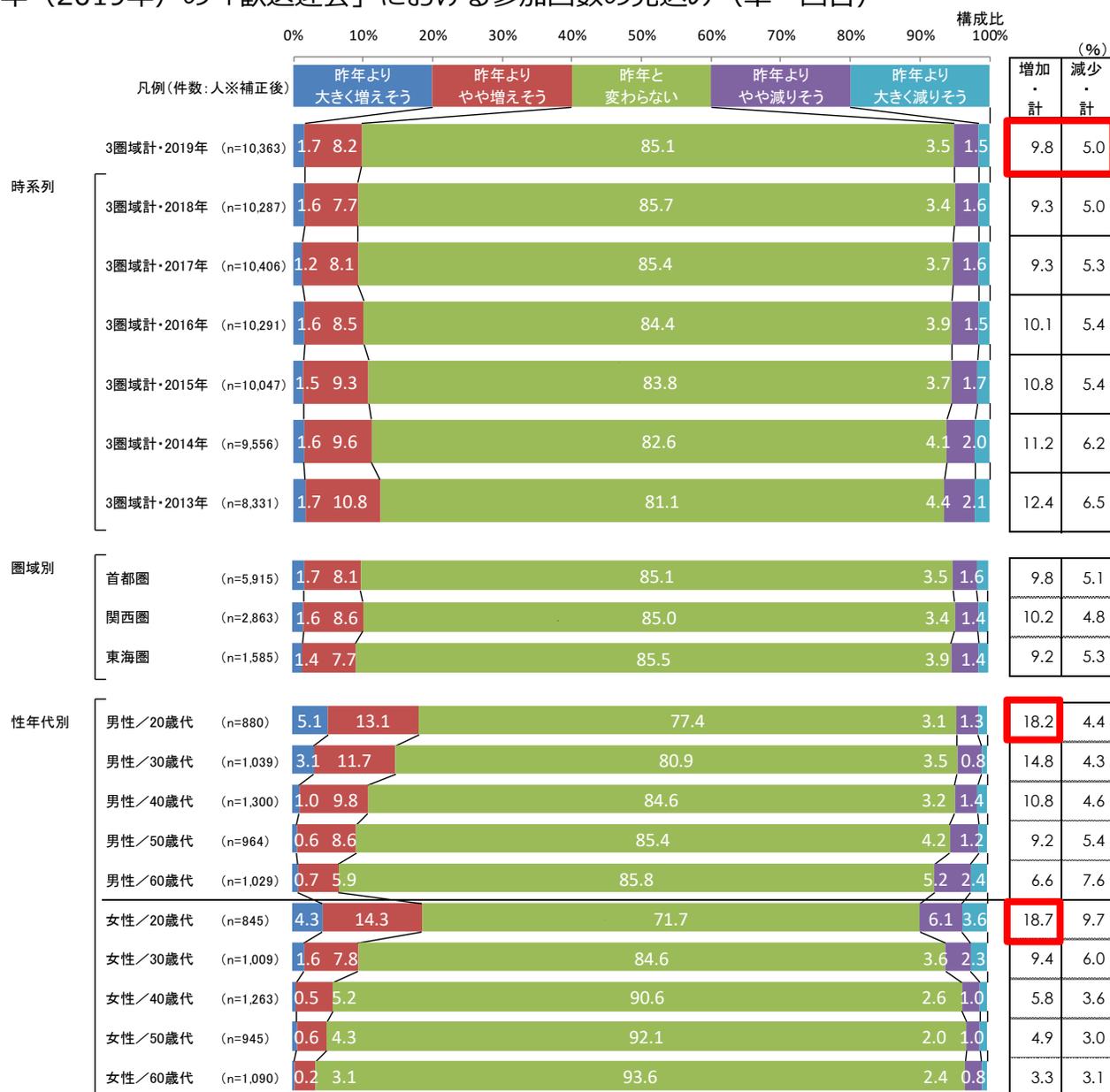


1. 今春の「歓送迎会」への参加が「増えそう」な人が増加に転じる

<歓送迎会> 2019年春の「歓送迎会」への参加回数の見込みは、「昨年並み」という回答が前年より微減し、増加派（「昨年より大きく増えそう」+「昨年よりやや増えそう」）が計9.8%（前年計9.3%）で微増。また、減少派（「昨年より大きく減りそう」+「昨年よりやや減りそう」）は計5.0%で前年と変わらなかった。なお、2018年の「歓送迎会」の参加率は31.4%（3圏域計、P5）であった。今年も同程度の参加率が見込まれそうだ。性年代別の特徴としては、30～60代男性が同年代の女性より増加派が多い傾向にあるが、20代に限っては、増加派が男性18.2%に対し女性は18.7%と、女性が男性を上回った。

<花見> 2019年春の「花見」への参加回数の見込み（P4）は、「昨年並み」という回答が年々増加し、今年が過去7年で最多（89.0%）となった。増加派（「昨年より大きく増えそう」+「昨年よりやや増えそう」）が計8.6%（前年計9.0%）と6年連続して減少。また、減少派（「昨年より大きく減りそう」+「昨年よりやや減りそう」）は計2.4%で前年と変わらなかった。なお、2018年の「花見」の参加率は29.0%（3圏域計、P5）だったので、今年も同程度の参加率が見込まれそうだ。

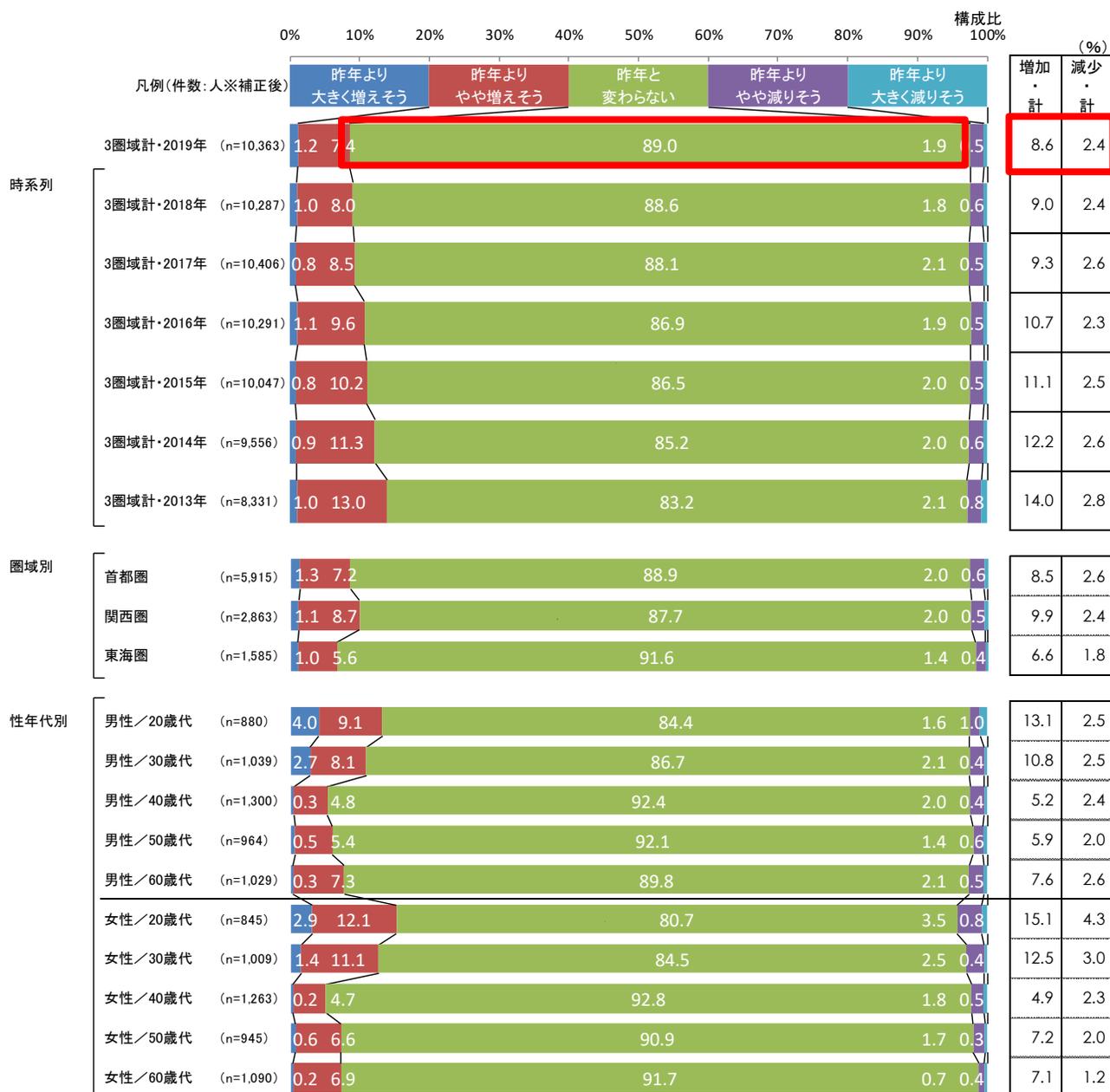
■今年（2019年）の「歓送迎会」における参加回数の見込み（単一回答）



※歓送迎会は店舗で行うもののみを尋ねている

> 増加・計：「昨年より大きく増えそう」「昨年よりやや増えそう」のいずれかを回答した人
 > 減少・計：「昨年よりやや減りそう」「昨年より大きく減りそう」のいずれかを回答した人

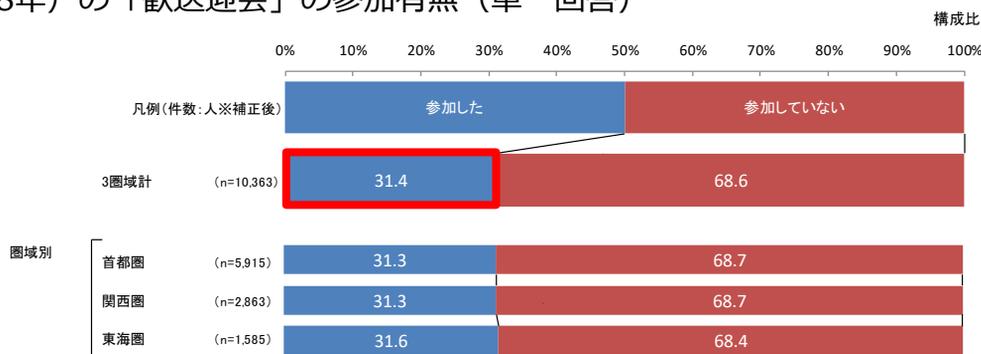
■今年（2019年）の「花見」における参加回数の見込み（単一回答）



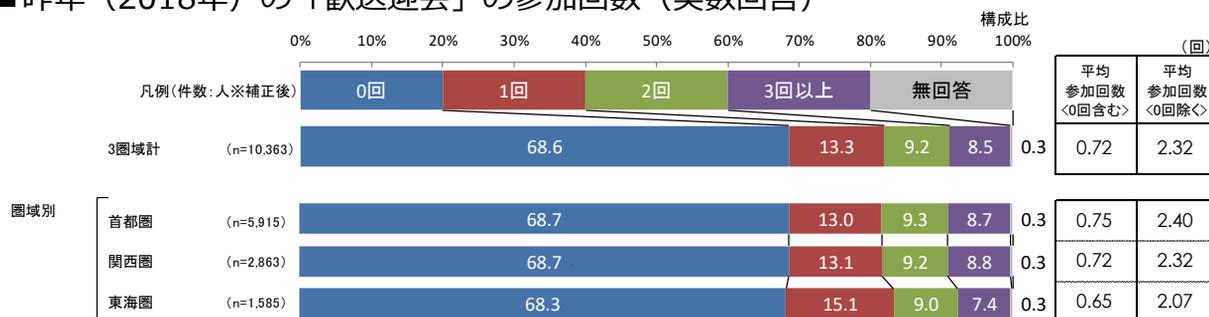
※花見は、店舗および店舗以外の屋外やホームパーティーで行うものも含めて尋ねている

- 増加・計：「昨年より大きく増えそう」「昨年よりやや増えそう」のいずれかを回答した人
- 減少・計：「昨年よりやや減りそう」「昨年より大きく減りそう」のいずれかを回答した人

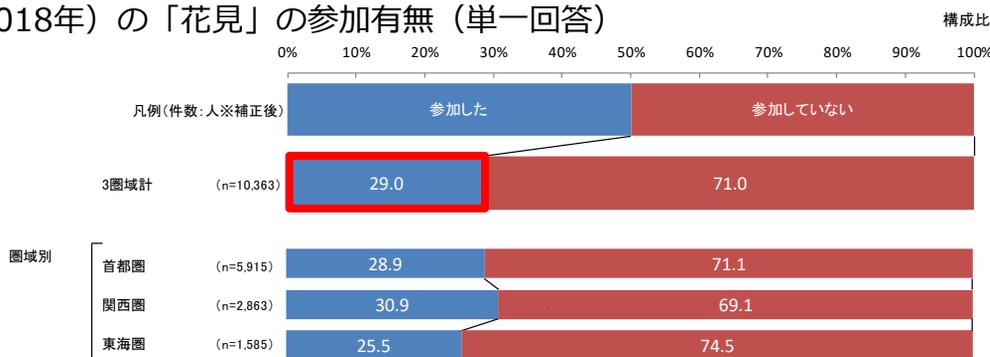
■ 昨年(2018年)の「歓送迎会」の参加有無(単一回答)



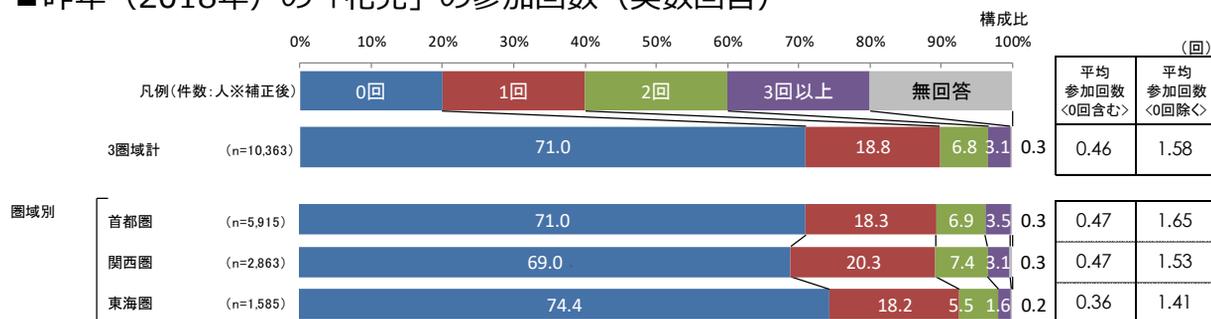
■ 昨年(2018年)の「歓送迎会」の参加回数(実数回答)



■ 昨年(2018年)の「花見」の参加有無(単一回答)



■ 昨年(2018年)の「花見」の参加回数(実数回答)



※ 「昨年(2018年)の「歓送迎会」「花見」に参加した回数」の再集計 (無効数値処理前のデータを使用)

➢ 参加した: 2018年2月~2018年5月までの各時期のいずれかで「1回」以上、回答した人

➢ 参加していない: 2018年2月~2018年5月までの全ての時期で「0回」と回答した人

※ 「平均参加回数」は、上下0.1%の範囲のデータを無効数値として除いて集計している

※ 「昨年(2018年)の歓送迎会・花見に参加した回数」の再集計 (無効数値処理後のデータを使用)

➢ 「0回」: 2月~5月までの参加回数の合計が「0回」の人

➢ 「1回」: 2月~5月までの参加回数の合計が「1回」の人

➢ 「2回」: 2月~5月までの参加回数の合計が「2回」の人

➢ 「3回以上」: 2月~5月までの参加回数の合計が「3回」以上の人

2. 平均予算は「歓送迎会」が4,124円（前年比+90円）で2年ぶりプラス予想、「花見」は2,452円（前年比-38円）で2年ぶりマイナス予想

予算について、過去7年の結果と今年の想定額を比較した。

<歓送迎会> 2018年における「歓送迎会」の実際の費用を見ると、1人1回あたり「5,000円～6,000円未満」に大きな山、「3,000円～4,000円未満」に小さな山があったが、2019年の想定額では、2つの山の高さがほぼ同じになる予測になっている。1人1回あたりの想定支出金額平均は4,124円（前年比+90円）で2年ぶりのプラス予測となり、過去7回の調査で最も高い想定額となった。

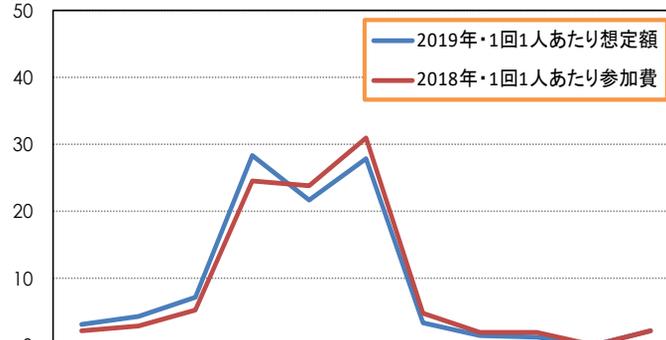
<花見> 一方、「花見」（P7）については、2018年の実際の費用と今年の想定金額ともに「2,000円未満」が最多で、実績、想定ともに3,000円未満計で過半数のシェアを占めている。今年の1人1回あたりの想定支出金額平均は2,452円（前年比-38円）と2年ぶりのマイナス予想となった。

■「歓送迎会」の支出額実績と今年の想定金額（1人1回あたり参加費・実数回答）

※支出額実績は参加者ベース、今年の想定金額は参加する機会がありそうな人ベース

<3圏域計>

構成比(%)



		(件数:人※補正後)													平均(円)			
		0円	2千円未満(0円除く)	2千～3千円未満	3千～4千円未満	4千～5千円未満	5千～6千円未満	6千～7千円未満	7千～8千円未満	8千～9千円未満	9千～1万円未満	1万円以上	無回答	参加費	想定額	想定額の前年比		
歓送迎会	1回1人あたり想定額	2019年	4,756	3.0	4.1	7.0	28.2	21.5	27.9	3.2	1.4	1.3	0.0	2.2	0.1	-	4,124	+90
	1回1人あたり参加費	2018年	2,504	2.0	2.8	5.1	24.6	23.8	30.9	4.8	1.9	1.9	0.0	2.1	0.1	4,426	4,034 *1	▲59
		2017年 *1	2,579	2.1	3.2	6.3	25.0	23.6	29.6	3.9	2.3	1.5	0.1	2.3	0.1	4,289 *1	4,093 *2	+80
		2016年 *2	2,580	1.4	2.3	6.0	25.0	23.3	30.6	5.0	2.5	2.0	0.1	1.7	0.1	4,359 *2	4,013 *3	▲42
		2015年 *3	2,609	2.2	3.4	6.2	25.0	23.1	30.8	3.7	2.0	1.8	0.1	1.8	0.1	4,344 *3	4,055 *4	+53
		2014年 *4	2,582	2.0	2.9	6.7	26.1	23.0	29.5	4.4	2.3	1.1	0.1	1.8	0.1	4,242 *4	4,002 *5	+16
		2013年 *5	2,475	2.3	3.6	6.6	27.0	22.1	28.8	3.9	2.2	1.4	0.3	1.9	0.1	4,188 *5	3,986 *6	-
		2012年 *6	2,383	1.6	3.4	7.4	27.6	21.8	28.3	3.8	2.3	1.8	0.1	1.9	0.1	4,247 *6	-	-

*1: 2018年調査で聴取したもの

*2: 2017年調査で聴取したもの

*3: 2016年調査で聴取したもの

*4: 2015年調査で聴取したもの

*5: 2014年調査で聴取したもの

*6: 2013年調査で聴取したもの

※平均(円): 0円を除いた平均値

※平均は、「0円（自分では払わない）」を除いて集計している

※各費用の上下0.1%の範囲のデータを無効数値として除いて集計している。歓送迎会は店舗で行うもののみを尋ねている

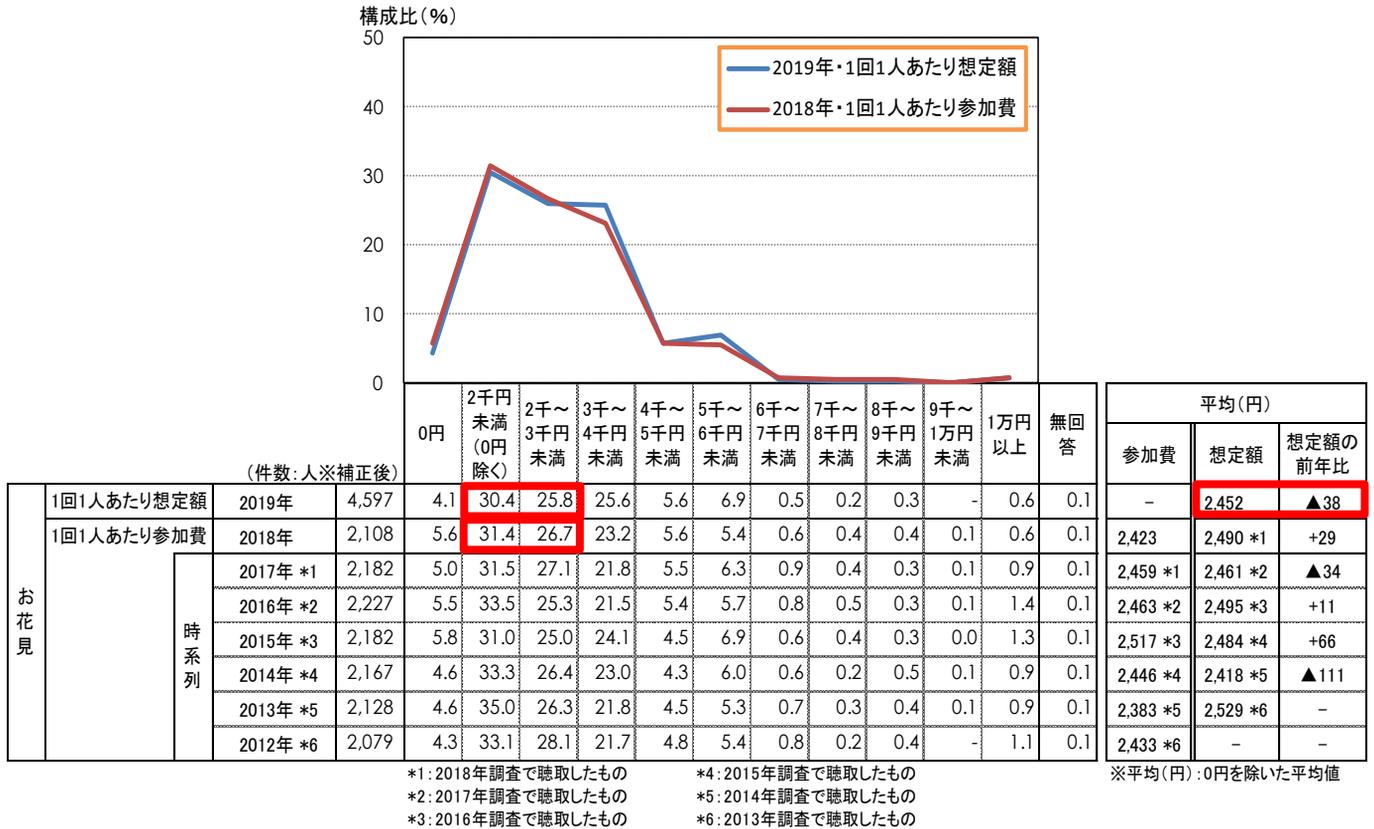
※想定額は、自分で払ってもいい額として尋ねている

※参加費は、自分で払ってなくても会にかかった1回1人あたりの金額を尋ねている

■「花見」の支出額実績と今年の想定金額（1人1回あたり参加費・実数回答）

※支出額実績は参加者ベース、今年の想定金額は参加する機会がありそうな人ベース

<3圏域計>



※平均は、「0円（自分では払わない）」を除いて集計している

※各費用の上下0.1%の範囲のデータを無効数値として除いて集計している。お花見は、店舗および店舗以外の屋外やホームパーティーで行われたものも含めて尋ねている

※想定額は、自分で払ってもいい額として尋ねている

※参加費は、自分で払っていなくても会にかかった1回1人あたりの金額を尋ねている

3. 「会社・仕事関係」の相手との「歓送迎会」は前年より増加の予想、 「友人・知人関係」「家族・親族関係」の相手との「花見」は、共に2割の予想

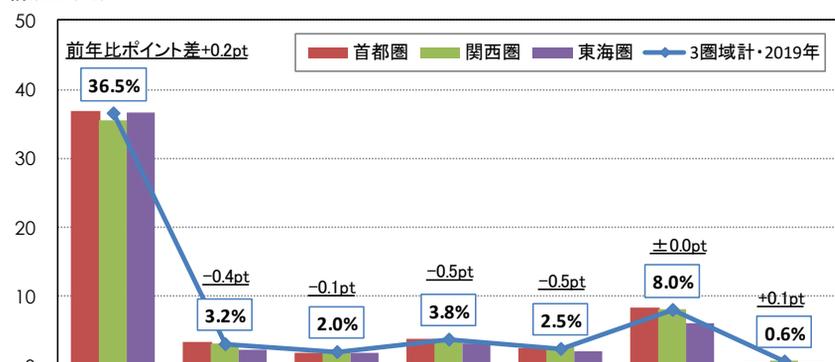
2019年春の「歓送迎会」「花見」を行う相手について聞いた。

<歓送迎会> 「歓送迎会」の相手は「会社・仕事関係」が最多で36.5%（前年比+0.2ポイント）で、2年連続の増加予測。人手不足や福利厚生充実の流れを背景に、積極的にこうした行事が予定されている可能性がありそうだ。このところ減少傾向の「友人・知人関係」は8.0%と、前年と変わらなかった。

<花見> 「花見」の相手は「家族・親族関係」と「友人・知人関係」が共に最多で20.0%の同率であった（P9）が、前年比では「家族・親族関係」は前年比+0.3ポイント、「友人・知人関係」は前年比-0.6ポイント、と傾向は分かれた。また、「当てはまるものはない」の回答が55.6%（P9）とこれまでの調査で最高数値を記録したことや、P4での「花見」の参加回数見込みにおいて増加派が年々減少していることなどから、参加に消極的な人が増えていることがうかがえる。

■ 参加する機会がありそうな「歓送迎会」の相手（複数回答）

構成比(%)



		(件数:人※補正後)								
		会社・仕事関係	学校関係	地域の集まりの関係	趣味・サークル関係	家族・親族関係	友人・知人関係	その他の関係	当てはまるものはない	
時系列	3圏域計・2019年	10,363	36.5	3.2	2.0	3.8	2.5	8.0	0.6	54.1
	3圏域計・2018年	10,287	36.3	3.6	2.1	4.3	3.0	8.0	0.5	53.8
	3圏域計・2017年	10,406	35.7	3.8	2.1	4.2	2.8	8.2	0.7	53.8
	3圏域計・2016年	10,291	36.8	4.1	2.3	4.7	2.7	9.1	0.7	51.6
	3圏域計・2015年	10,047	36.7	4.3	2.2	5.2	3.6	10.1	0.8	50.6
	3圏域計・2014年	9,556	36.7	4.4	2.5	5.5	3.1	9.7	0.8	50.9
	3圏域計・2013年	8,331	38.0	5.5	2.8	6.1	3.8	12.4	1.0	47.9
圏域別	首都圏	5,915	36.8	3.4	2.0	3.9	2.4	8.4	0.6	53.9
	関西圏	2,863	35.6	3.3	2.3	4.0	2.9	8.2	0.7	54.0
	東海圏	1,585	36.6	2.3	1.9	3.2	2.2	6.1	0.6	55.2
性年代別	男性/20歳代	880	42.8	10.1	2.2	7.7	3.6	10.3	0.9	42.8
	男性/30歳代	1,039	55.0	1.8	3.3	3.5	2.9	10.3	0.6	38.7
	男性/40歳代	1,300	53.2	0.7	1.7	2.9	1.1	6.3	0.5	42.3
	男性/50歳代	964	53.2	1.7	1.6	1.9	0.7	5.4	0.4	42.3
	男性/60歳代	1,029	28.8	1.3	3.4	4.0	2.7	8.0	0.9	59.8
	女性/20歳代	845	44.2	8.5	0.7	7.3	3.8	11.9	0.8	42.4
	女性/30歳代	1,009	30.9	3.9	1.8	1.8	3.2	9.0	0.5	59.4
	女性/40歳代	1,263	24.4	4.3	1.9	2.8	2.1	7.3	0.5	65.0
	女性/50歳代	945	22.7	1.7	0.9	1.8	2.8	7.6	0.4	68.0
	女性/60歳代	1,090	11.2	0.4	2.8	5.5	3.0	5.8	0.7	76.6

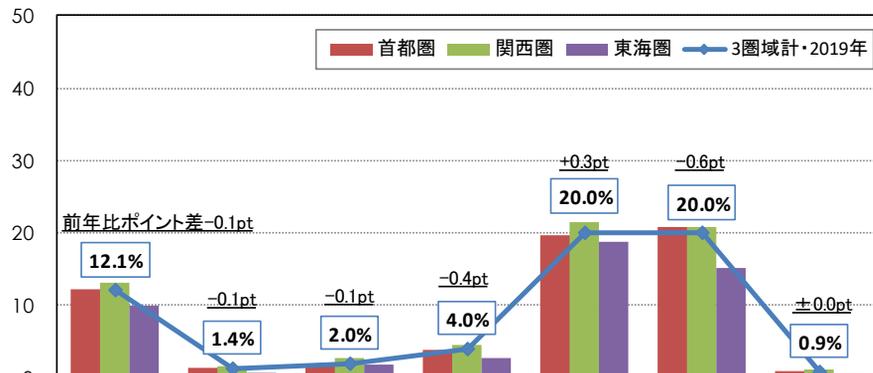
太字 3圏域計より10ポイント以上高い項目

3圏域計より10ポイント以上低い項目

※前年比ポイント差:「(3圏域計・2019年)-(3圏域計・2018年)」で算出

■ 参加する機会がありそうな「花見」の相手（複数回答）

構成比(%)



(件数: 人※補正後)		会社・仕事関係	学校関係	地域の集まりの関係	趣味・サークル関係	家族・親族関係	友人・知人関係	その他の関係	当てはまるものはない	
時系列	3圏域計・2019年	10,363	12.1	1.4	2.0	4.0	20.0	20.0	0.9	55.6
	3圏域計・2018年	10,287	12.2	1.5	2.1	4.4	19.7	20.6	0.9	54.7
	3圏域計・2017年	10,406	12.0	1.2	2.6	4.4	20.5	21.5	0.8	52.9
	3圏域計・2016年	10,291	12.8	1.8	2.2	5.3	20.4	22.2	1.0	52.3
	3圏域計・2015年	10,047	12.9	1.8	2.8	6.0	22.3	23.8	0.9	49.4
	3圏域計・2014年	9,556	12.3	1.8	2.7	5.9	22.1	23.9	1.1	49.9
	3圏域計・2013年	8,331	14.3	2.4	3.1	6.4	23.0	27.2	1.2	46.1
圏域別	首都圏	5,915	12.2	1.5	1.8	4.0	19.6	20.9	0.9	55.8
	関西圏	2,863	13.1	1.6	2.7	4.6	21.5	20.9	1.2	52.4
	東海圏	1,585	9.9	0.8	1.8	2.9	18.7	15.3	0.5	61.0
性年代別	男性/20歳代	880	18.3	3.9	1.7	5.0	9.0	14.5	1.3	62.2
	男性/30歳代	1,039	21.5	1.5	2.9	4.2	14.2	17.1	1.0	55.9
	男性/40歳代	1,300	17.0	0.5	1.9	2.8	12.8	12.9	0.6	62.8
	男性/50歳代	964	16.8	0.5	2.0	2.7	13.9	12.2	0.9	61.5
	男性/60歳代	1,029	9.2	0.5	4.2	5.0	24.2	16.6	1.0	53.8
	女性/20歳代	845	15.4	3.5	1.1	4.5	16.8	27.0	2.1	50.4
	女性/30歳代	1,009	9.9	2.7	1.4	2.7	26.9	27.0	0.9	50.4
	女性/40歳代	1,263	6.0	1.4	0.9	2.1	24.8	20.1	0.7	56.4
	女性/50歳代	945	5.1	0.3	0.8	3.0	26.6	25.7	-	53.4
	女性/60歳代	1,090	3.2	0.3	3.2	8.5	29.4	29.2	1.0	48.2

太字 3圏域計より10ポイント以上高い項目

3圏域計より10ポイント以上低い項目

※前年比ポイント差:「(3圏域計・2019年)-(3圏域計・2018年)」で算出